

<寄稿>

## 次世代基盤技術研究所に 期待すること

第三代工業技術研究所長  
深谷 保博



次世代基盤技術研究所の創設にあたって、大学本部はもとより、工業技術研究所および工学部の教職員の方々が払われたご努力に深く敬意を表します。また、平成8年から22年に至る工業技術研究所時代にご苦勞をいただいた研究所および工学部の教職員の方々に謝意を表すると共に慶びを分かち合いたいと思います。

また、中国経済産業局、東広島市、広島・呉の産業振興機構等の官関係機関のご支援、工学部事務部門が設立に大きく注力された近畿大学産学官連携推進協力会の充実、マツダ（株）・三菱重工業（株）など地元企業からの最新技術動向の紹介や教育・研究面での相互乗り入れが行われ、産学官連携が大きく伸展したと思われまふ。創設された次世代基盤技術研究所には、社会連携センターを軸に自動車・建築環境・バイオ工学・サービス工学に関する4つの研究センターが設立されていますが、個々の研究テーマに関してはこれらのご支援や活動の延長線上にあるものが多く、将来に亘っても、この連携は不可欠のものと考えまふ。

文部科学省の平成22年度版科学技術白書によりますと、第1部で「価値創造人材が拓く新たなフロンティア～日本再出発のための科学・技術の在り方～」が取り上げられ、その第1章「未来を切り拓き課題解決に貢献する科学・技術」で、(1)低炭素型社会の実現に貢献する科学・技術、(2)安全で質の高い国民生活に貢献する科学・技術、(3)基礎科学力の強化、の3テーマが抽出され、第2部「科学技術の振興に関して講じた施策」では、その第2章「科学技術の戦略的重点化」において、ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料、エネルギー、ものづくり技術、社会基盤、フロンティアの8分野技術と横断的分野として国家基幹技術、安全・安心に資する科学・技術の2分野技術に重点化されています。

次世代基盤技術研究所の目指す方向は、この技術白書の指針に合致しており、おおいなる期待がもたれます。一層の充実をはかっていただき、多くの成果があがりますよう祈念しています。特に、次世代自動車技術の研究は、要素技術が多岐に亘るため、自動車にとどまらず、他の機械への波及効果も大きいため、重点的な研究推進が期待されます。